

地 域 再 生 計 画

1．地域再生計画の名称

富士の国やまなし峡東エリア地域再生計画

2．地域再生計画の作成主体の名称

山梨県、山梨市、笛吹市、甲州市

3．地域再生計画の区域

山梨市、笛吹市及び甲州市の全域

4．地域再生計画の目標

本地域は、北部の秩父多摩甲斐国立公園地域の国師ヶ岳・甲武信ヶ岳をはじめとする山岳地域や西沢渓谷等の渓谷美にあふれる豊かな自然と、南部地域の桃・ぶどう・さくらんぼ等の農業生産を行っている農村果樹地域を有している。また、中南部では、数多くの歴史的・文化的遺産も残されており、毎年多くの観光客が訪れている。

しかし、この地域は、観光地間のアクセス道路整備の遅れから、地域内の連携に欠けるため、日帰り通過型の観光エリアとなっている。このことから、新たな森林レクリエーションの場等を提供し、山岳観光とグリーンツーリズムを有機的に連携させるため、高速道路ＩＣや主要幹線道路から観光施設間や山岳観光地周遊道路へのアクセス利便性を向上させる効率的な道路ネットワークの構築を図ることが課題となっている。

一方、市街地及びその周辺においては、安全・安心の地域づくりの観点から通行上危険な箇所を解消し、地域内での災害発生時等に避難誘導・救援活動を円滑にするための避難経路や輸送網として安全かつ安心して通行できる交通環境の整備、さらに、医療・福祉ネットワークの形成の観点から、高齢者福祉サービスを円滑に進める道路網として、主要な緊急道路網を補完するアクセス道路の整備が必要となっている。

これらの課題を総合的に解決するため、地域内の観光振興に伴う関連事業と併せて、市道の改良事業、広域農道の新設事業、林道の開設・改良・舗装事業を一体的に進めることとする。これにより、第１に中央自動車道勝沼ＩＣ、一宮・御坂ＩＣから地域内へのアクセスが向上し、地域の特色である山岳景観、恵林寺・大善寺等の歴史遺産など、いくつもの観光資源を有機的に結びつけ、峡東エリアのみならず、山梨中北部エリアの甲府市北部・クリスタラインへ結びつくパティに富み、魅力的な周遊性と滞在性の高い観光ルートを確立することで、滞在型の観光地として観光客の入り込み客数の増加を図り、地域全体の活性化をめざす。第２に緊急時におけるアクセス道路として緊急道路網を補完する役割を果たし、住民福祉の向上と安全かつ安心して通行できる地域づくりを進める。

(数値目標)

現在、本県においては平成16年6月21日認定済みの地域再生計画「『富士の国やまなし』観光振興計画」に基づき、全県的に観光振興戦略を積極的に展開している。その計画の目標については(表1)のとおりであり、10年後における観光客数を目標数値として掲げている。本計画においては、この観光振興計画を基に地域内で推進する関連事業との連携をとり、市道・農道・林道の整備による山岳観光・拠点施設へのアクセス改善を図ることで、表2のとよりの効果を見込んでいる。

表1：平成25年における観光関連目標数値〔山梨県全体〕

算出方式	現況値(H14)	目標値(H25)
年間観光客数(実人数) 【出典】観光客動態調査(山梨県)	40,108千人	50,100千人
年間外国人観光客数(実人数) 【出典】観光客動態調査(山梨県)	399千人	672千人
観光客一人当たりの消費額 【出典】観光客動態調査(山梨県)	8,025円	8,230円
年間宿泊者数(実人数) 【出典】観光客動態調査(山梨県)	5,868千人	6,070千人

注) 山梨県長期総合計画「創・甲斐プラン21」から推計

注) 地域再生計画「富士の国やまなし」観光振興計画資料より

表2：平成21年におけるエリア内の観光客数目標数値

単位：人

算出方式	各地区	現況値(H15)	目標値(H21)
年間観光客数(延べ人数) 【出典】観光客動態調査(山梨県)	大菩薩・恵林寺周辺	549,010	
	勝沼ぶどう郷周辺	1,732,342	
	西沢渓谷・フルーツ公園周辺	1,912,570	
	石和温泉・果実郷周辺	4,398,691	
	風土記の丘周辺	825,148	
	計	9,417,761	
年間観光客数(実人数) 【出典】観光客動態調査(山梨県)		7,719,000	
計画地域年間観光客数(実人数)		1,543,000	1,735,000

注) 計画地域年間観光客数は(実人数)観光客動態調査の年間観光客数(実人数)から推計

注) 目標値は「富士の国やまなし」観光振興計画観光客表4の目標から推計

5. 目標を達成するために行う事業

(5-1) 全体の概要

北部地域においては、観光地としての周遊ルートを確立するため、県の公共事業重点化事業の中の「秩父多摩甲斐国立公園山岳周遊基盤事業」により「林道嵯峨塩深沢線」・「林道日川線」の舗装事業及び「林道川上牧丘線」の改良事業を進め、早期の完成を図る。

また、ブドウ、桃などの全国有数の産地を抱える中南部においては、農林業振興及びグリーンツーリズムを目的とした魅力ある観光地づくりのため、「広域農道東山東部線」の農道開設事業を行うとともに、安全・安心の交通環境を整備するため、甲州市の「市道下於曾41号線」等を早期に整備する。

特に域内の2市（山梨市、甲州市）は、山梨県から「魅力ある観光地づくりモデル事業」のモデル地域の第1号の指定を受け各種ソフト事業や観光施設整備事業を進める。

これらにより、峡東エリア全体として市道・林道・農道と既に整備済みあるいは今後整備予定である県道等との連携が図られ、以下のようなアクセスルート網が構築される。

（下線：道整備交付金整備路線）

ルート1

- ・【勝沼I.C 林道嵯峨塩深沢線 嵯峨塩温泉 林道源次郎線 林道中道沢線 日川渓谷 林道焼山沢真木線 湯ノ沢峠 林道日川線 上日川ダム 大菩薩峠 裂石山雲峰寺 柳沢峠・三窪高原 林道竹森線 ザゼンソウ群落 塩山温泉郷 向嶽寺 甘草屋敷 市道下萩原21号線 市道下萩原22号線 広域農道東山東部線 勝沼ぶどう郷 国宝大善寺 勝沼I.C】

ルート2

- ・【一宮御坂I.C 山梨桃の里 市道石森山南線 根津嘉一郎邸 市道落合正徳寺線 笛吹川フルーツ公園 市道野背坂線 万力公園 市道小原東東後屋敷線 国宝清白寺・遠方屋敷 広域農道東山線 林道水ヶ森線 林道一ツ木水ヶ森線 乙女高原 林道川上牧丘線 琴川ダム 夢の庭園・国師ヶ岳・金峰山 林道川上牧丘線 塩山温泉郷 林道塚本山線 広瀬ダム・西沢渓谷 於曾屋敷 市道下於曾41号線 勝沼ぶどう郷 国宝大善寺 勝沼I.C】

ルート3

- ・【甲府南I.C 林道黒坂里道線 林道鷺宿中芦川線 芦川渓谷・すずらん群落 林道蕪入沢下芦川線 金川の森公園 広域農道金川曾根線 石和・春日居温泉郷 県立博物館 一宮桃の里 一宮御坂I.C】

このように、計画期間内の市道・林道・農道整備により当地域一帯を広域的にカバーする新たな周遊ルートを確立することで、観光客の周遊性・滞在性が高まり、観光客の自然とふれあう機会を大きく増やすことができ、あわせて地域全体が活性化する。

なお、整備予定の各市道については、各市において路線認定済であり、広域農道については、土地改良法に基づく実施手続きが開始（平成14年1月28日付け概要公告変更済）さ

れており、さらに林道については、富士川上流地域森林計画に掲載されている。

(5 - 2) 法第 4 章の特別の措置を適用して行う事業

道整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を完了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

市町村道

- 山梨市道「落合正徳寺線」：道路法に規定する市町村道に昭和 59 年 3 月 12 日に認定済み
- 山梨市道「小原東東後屋敷線」：道路法に規定する市町村道に昭和 59 年 3 月 12 日に認定済み
- 山梨市道「野背坂線」：道路法に規定する市町村道に昭和 59 年 3 月 27 日に認定済み
- 山梨市道「石森山南線」：道路法に規定する市町村道に平成 14 年 1 月 4 日に認定済み
- 甲州市道「下萩原 21 号線」：道路法に規定する市町村道に昭和 58 年 10 月 8 日に認定済み
- 甲州市道「下於曾 41 号線」：道路法に規定する市町村道に平成 7 年 10 月 2 日に認定済み
- 甲州市道「下萩原 22 号線」：道路法に規定する市町村道に昭和 58 年 10 月 8 日に認定済み

広域農道

「東山東部線」：事業採択を平成元年 5 月 29 日に国より通知を受けるとともに、事業計画については土地改良法に基づく手続きを行い、平成元年 11 月 29 日に確定している。

林道

- 「黒坂里道線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「嵯峨塩深沢線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「竹森線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「日川線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「水ヶ森線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「焼山沢真木線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「塚本山線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「中道沢線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「源次郎線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「鶯宿中芦川線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載
- 「一ツ木水ヶ森線」：森林法による富士川上流地域森林計画（平成 14 年樹立）に路線を記載

[施設の種類（事業区域）、事業主体]

- ・ 市 道（山梨市、甲州市） 山梨市、甲州市
- ・ 広域農道（甲州市） 山梨県
- ・ 林 道（山梨市、笛吹市、甲州市） 山梨県、笛吹市、甲州市

[事業期間]

- ・ 市道（平成 18 年度～21 年度）、広域農道（平成 17 年度～19 年度）、林道（平成 17 年度～21 年度）

[整備量及び事業費]

- ・ 市道 2,990m、広域農道 1,746m、林道 20,825m

- ・ 総事業費

市道	2,623,000	千円	(うち交付金	1,311,500	千円)
広域農道	976,500	千円	(うち交付金	488,250	千円)
林道	1,897,300	千円	(うち交付金	910,260	千円)
合計	5,496,800	千円	(うち交付金	2,710,010	千円)

(5-3) その他の事業

平成 16 年 6 月 21 日に認定された地域再生計画「『富士の国やまなし』観光振興計画」に基づき、やまなし魅力発信事業などのソフト事業や観光施設整備を進める。

また、山梨市、甲州市地区において、山梨県の新しい観光振興のモデル地区を形成するため、魅力ある観光地づくりモデル事業」を実施し、県道や遊歩道等の整備を進め、北部の山岳地域においても林道の改良事業を行う。

山梨市は、「新山梨市総合計画」において、市内に数多く存在する歴史・文化遺産や都市公園、自然資源などを一体的にネットワークし、その空間を活用することによって、大きな野外博物館（フィールドミュージアム）として観光客や地域住民に楽しんでもらうことを目的に、「山梨市フィールドミュージアム構想」を推進する。また、恵まれた森林資源を利用し、医療機関と連携する中で、都市住民を対象に医療、リハビリテーション、カウンセリングなどを行う「森林セラピー構想」を進める予定であり、これら事業の推進を図るためのネットワーク網づくりを進める。

6 . 計画期間

平成 17 年度～ 21 年度

7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

4 に示す地域再生計画の目標については、計画終了後に必要な調査を行い、状況を把握し関係行政機関と達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。

8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし